

コンチネンス中級セミナー事前課題「事例報告」のまとめ方

中級セミナーを受講される方は、セミナー受講条件として、事前の課題提出が必要です、以下の要領で、事例報告を作成してください。なお、事例報告は、筆記試験と併せて、認定評価の得点になります。

「個人情報保護」の観点から、事例報告の提出に際しては、慎重な取り扱いと対応が必要です。そこで「まとめ方」についても個人を特定できる内容は記載しないよう十分注意して、事例を作成してください。なお、事例提出に当たっては、事例の対象者に対して★提出目的を説明し、本人もしくは家族の了解を得てください。可能であれば、書面です承を得て記録を残しておいてください。

【事例のまとめ方】

- 1) タイトル (30 字以内に簡潔に)
- 2) 事例提供者 (氏名、職種、所属 (急性期病棟 (院)、療養型病棟 (院)、老人保健施設、特別養護老人ホーム、その他の高齢者施設、その他の機関)、県名は不要 50 字以内)
- 3) この事例を報告する理由 (200 字以内)
- 4) クライアント (性別、年代 (ex. 70 歳代)、氏名略称は不要、職業 (必要時のみ記入) 28 字以内)
- 5) フェスシート (下記の小見出しを含め 500 字程度)
 - 家族 (事例検討に必要な場合のみ) ●主な介護者 ●活用中の社会制度 ●経済状況
 - 使用中の医療福祉機器 ●関わった職種 ●既往歴 (特に排泄に関連する) ●性格 (事例検討に必要な場合のみ) ●状態 ●麻痺 ●着替え ●整容動作 (洗面、入浴) ●寝返り ●座る ●立つ ●歩く ●食事
 - 排泄状況 ●その他 (付記事項)
- 6) 支援経過
 - 支援する事になったきっかけ ●排泄障害のタイプと問題 ●支援目標と支援期間 ●キーワード
 - 支援計画 ●支援経過
- 7) 支援に対する評価
- 8) まとめと感想
- 9) 引用文献・参考文献

(注意事項)

- 1) 集団を対象とした事例では、4) クライアント、5) フェスシートは各自で作成する。
- 2) 用紙は A4 サイズで、3 枚以内にまとめ、ページを入れる (ワープロ書きも同様)。文字の大きさは 10~12 ポイントで、文字数に換算すると 40 字×40 行×3 枚=4,800 字程度 (タイトル等含む合計文字数) にまとめてください。ただし A4 サイズ 1 枚以内の添付資料は可能 (例: 排尿記録、住宅見取り図などの関係資料のみ)
- 3) 事例報告はあくまで、提出者がクライアントの問題に対してどのような関わりを行ったか (ケアを提供したか) に視点を置いて作成してください。
- 4) 「事例のまとめ方」に則らない事例報告は、場合によっては書き直しをお願いすることもありますので、注意してまとめてください。
- 5) 排泄ケア事例レポートは、中級セミナーの事例検討、排泄ケア事例検討全国大会、排泄ケア事例集などに使用させていただく場合があります。使用する場合は、事前にご連絡致します。

【記述の評価視点】

- 1) 報告する理由が明確であること。
- 2) 客観的に記述できること。
 - ★「問題」を軸にした簡潔な整理
 - ★実情報と自分の解釈の区別
- 3) 実践経過では、アセスメントに基づく支援計画、その実践が整理されている。
- 4) 実践の評価に関する以下の観点が含まれる。
 - ★ケア受け手の満足度
 - ★支援目標の達成度と今後の課題
 - ★文献に基づく考察